

九州農政局と共催で「金融仲介の質の向上に向けたシンポジウム」を開催

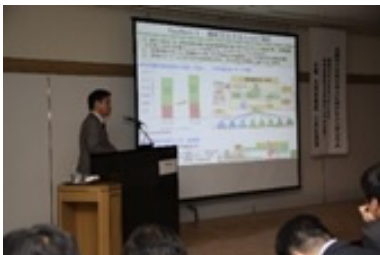
財務局では毎年同シンポジウムを開催。九州財務局においては、今回農業分野の有識者による基調講演とともに、関係者と「農業分野の活性化のための地域金融機関の可能性とその課題」をテーマにパネルディスカッションを実施。

概要

- 管内の金融機関では、基幹産業の一つである農業について活性化に係る取組を進めているが、農業融資を行うにあたっては他の産業とは異なったノウハウ等が必要。
 - 当該分野に取り組んできた日本政策金融公庫の知見・ノウハウを共有することは、金融仲介機能の質の向上を図るうえで有意義。
- ↓
- 農業分野の活性化をテーマに「金融仲介の質の向上に向けたシンポジウム」を平成30年3月26日に開催。

基調講演：九州農政局・鹿児島銀行・日本政策金融公庫

パネルディスカッション：地域金融機関・日本政策金融公庫・農業事業者・熊本県立大学・行政機関



【基調講演の様様】



【パネルディスカッションの様様】

取組の成果と今後の展開

○取組の成果

- 金融機関、農業関係者など175名が参加。

【基調講演】

- 九州の農業の現状、地域金融機関が設立した農業法人や地域金融機関と地方公共団体との連携事例、農業分野における日本政策金融公庫の各種施策などが紹介された。

【パネルディスカッション】

- 地域金融機関と日本政策金融公庫が連携し、その専門性を発揮して農業分野の活性化のため、どのような支援が可能か等について議論。

○今後の展開

- 今後も、局内外の情報共有を進めつつ、地域金融機関と政府系金融機関との連携・協働を促進。
- 次年度以降も、地域金融機関向けの農業融資セミナーを農林水産省とも連携して開催するなど、農業融資に関するノウハウの周知等を図る予定。